寺崎組新聞

第１２０号　２０１４年(平成２６年)　１０月吉日
http://homepage2.nifty.com/nojyuku/

た酒瓶は空。またもやラジオ体操よりも早く朝飯を終え朝の儀式。日差しが出てきた。一番奥の赤貧さんのテントに当たり、一同うらやむ。今日も朝露でぐっちょぐっちょのままのテントをたたみパッキング。岐路のルートを決めるため、組長に今の場所を教えてもらう。一同ルートが決まり宿を離れたのは八時三分。県道二百三十八号線に出て、赤貧さんは恐山を目指し北上、他は南下国道三百四十号線をまた南下、国道百七号線の交差点にて組長・オガタさんは一ノ関方面へ、地下鉄さん・ゴミ浦さん・自分は陸前高田方面へ向かうのであった。

記　１２４号　三倉

前沢組会一人一言

●てんとう虫は全て、ようつべ引き回しの刑に処しました。（赤貧）

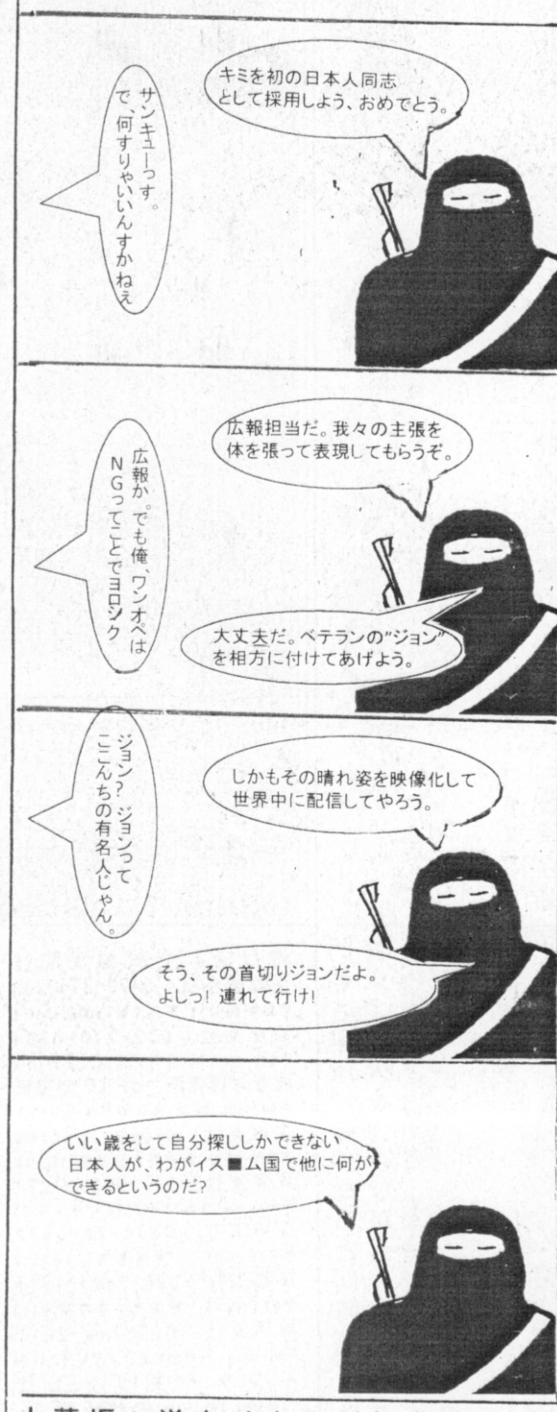
●林道天国ですね！最高でーすよ！新車が、一台！三台が、こけて、家が、荷崩れの組会でした！（オガタ）

●久しぶりに星空を堪能できました。また、夜露は凄かったけれど、天気が良く合羽を着ることはありませんでした。こういう組会は記憶に残りにくいのですが、赤貧さんが荷物を落としたり、帰りに三陸の惨状を見たので、それなりに記憶に残りそうです。（地下鉄）

●今回は天気にも林道にも恵まれ、とても良い組会でした。ちょっと遠いけど、岩手での組会を来年も期待したいです。しかし、津波の爪痕は想像以上でした。復興はまだ始まったばかりだと感じました。（ゴ三浦）

●地元と言われたけど、岩手と福島の外れでは地元じゃないです。これからも騒音でご迷惑おかけします。（三倉）

北の大生(ダイナマ)君


キミを初の日本人同志として採用しよう、おめでとう。
サンキューっす。で、何すりゃいいんすかねぇ
広報担当だ。我々の主張を体を張って表現してもらうぞ。
広報か。でも俺、ワンオペはNGってことでヨロシク
大丈夫だ。ベテランの"ジョン"を相方に付けてあげよう。
しかもその晴れ姿を映像化して世界中に配信してやろう。
ジョン？ ジョンってここんちの有名人じゃん。
そう、その首切りジョンだよ。よし！連れて行け！
いい歳をして自分探ししかできない日本人が、わがイス■ム国で他に何ができるというのだ？

厳冬の、耐えるしばれる北海道 ２０１２Ｖｅｒ

その２

道東へ…

朝からの思いがけぬトラブルで、結局出発できたのは昨日より遅くなってしまった。シガーソケットは直ぐに外したものの、これが問題であるかは定かでない。今回の一件で、それまで乗ってきたバッテリーレスでキック始動のバイクが本当に恋しくなった。エンジンは始動出来たものの、トラブルに備えブースターケーブルだけは手に入れねば。上士幌まで下りＲ２４１を東進。足寄でブースターケーブル入手及び昼食と相成った。ついでに今夜の買出しも完了。相変わらずのアスファルト露出路面をさらに東進。阿寒富士や雌阿寒岳が姿を現し、道東に向かっている事を実感。途中オンネトー方面にそれるが、ここは最高の圧雪路面であった。最高速を試みるも８０ｋｍ／ｈで頭打ち。転がり抵抗は相当なものなのであろう。再びＲ２４１に戻り、阿寒湖を過ぎて阿寒横断道路に入る頃から、ようやく路面は雪で覆われ始めた。途中の双岳台では夕焼けと雄阿寒岳の大パノラマ。今日の目的地である屈斜路湖まではもう少しだ。

至福のひととき…

屈斜路湖畔の和琴温泉に１６時頃到着。ここは湖畔の小さな半島部分に温泉が湧き出る、いわば旅人にとっての聖地である。とは言いつつも今は脱衣所が出来、キャンプ禁止の看板が立ち、俗化が進んでしまったが…。そんな看板には目もくれずさっさとテント設営。入れ替わり立ち替わり入浴に来る人は居たが、咎める者は誰も居らず…。湖面は全面凍結し、湖面に立つ水鳥たちが何とも不自然。温泉が流れ出る場所だけは溶けていたが…。日もとっぷりと暮れ、誰も居なくなったところで入浴。テントから数十歩。空には満点の星。温泉に浸かりながらのサッポロクラシックは格別！。まさに至福のひとときである。この日、東京では大雪に見舞われた事からか、自分の安否を気遣うメールが多数入った。そんな心配をよそに、こちらは自分だけの時間を満喫した。本日の走行１６８ｋｍ。

御神渡り…

朝目覚めるとテントにカサカサ音。今回の旅で初めての降雪である。それと同時にバリバリと地鳴りの様な鈍い音。それは時折、山に木霊して何だかスゴイ迫力！。？と思ってみると「そうだ！御神渡りだ！」。御神渡りとは、凍った湖面が膨張してバリバリという音を立てて競り上がる現象である。その凄まじい造形は、まるで神様が通ったような光景から「御神渡り現象」と呼ばれるらしい。それに気づくのと相前後して、テントの外に何やら人の気配。何人もの人達が忙しそうに動いている様子。外を覗くとテレビ局の取材の様だ。自分が取材のターゲット？いやそんな事はない、先ほどからの御神渡りの取材だ。自分も外に出てテレビ局のカメラの方向を見渡したが、残念ながら氷の競り上がる所は確認できなかった。それでも御神渡りの生の音を聞くことが出来、朝から気分は上々である。（つづく）

第２回関西オフ三重県編

TRAD MINI 4×4 Jimny ·SINCE 1970·

風さわやかな朝、集合場所のコンビニにはカバさんが先着していた。ジムニーシエラから乗り換えたというホンダＮＢＯＸプラスを前に驚くしかなかった。内装は豪華絢爛、車重たっぷり、ドアの開口の広さは驚異的だ。ただ車高の低さが…。福祉車両として車いすの積載を前提としたためリアの車高がはんぱなく少ない。サイドもフロントもそれに合わせデザインしてあるのでダックスフントかコーギーのハピかという風情。このあとの林道が不安に…。伊藤の真ちゃん、白のきれいな１２Ｃジムニーでやってきた。前後外装はドレスアップ改造され２３５サイズのでっかいタイヤがカッコイイ。そして小生の１１Ｃジムニーの３台で県南部の林道めぐり旅の始まりなのだ。

まずは足慣らし、開通前の未舗装農道を一本、そして超ジモティーの真ちゃんみぞ知る林道を一本二本。真ちゃんはすでに、'ここどこ？'状態で不安一杯だろうし、カバさんはカマボコ路面に腹を掻きブッシュと小枝のガリガリ攻撃に冷や汗三斗であろう。わっはっは、三重はいいな。かつて組長と沢海さんが車をデポした広場へ登る。空は快晴、伊勢湾絶景を楽しんでいるがカバさんは来ない。１０分遅れで到着、非力なエンジンと車重に苦しみ、腹下に抱えた木の枝を取るのに手間取ったとの由、ガンバレホンダ。林道新藤越線へ入る。３年前に開通した６キロ程のダート道は、舗装化進行中だが高さ７００メートル余りの山隗をぐるりと回る眺めのよい林道だ。途中の広場で昼食タイム。ぽかぽかを通り越して陽気はすでに５月、ゼロ馬力のビールが美味い。途中の清水で水を汲み本日のメイン林道へ入る。ＨＰに写真を載せた道だ。国見岳を横切るスカイラインダートはフラットで熊野灘を一望できる今年のブランニュー林道だ。ただそこへの取り付き道が少々厳しくて、カバさんが心配だ。急坂急カーブに一週間前の豪雨による落石が激しい。立ち止まっては人頭大のゴロ石を取り除きＮＢＯＸ様の通り道を整備する、ジムニーなら気にもならない程度だがＮＢＯＸは都会育ち、限界集落のお年寄りの使用は考慮されなかったようだ、頼みますよホンダさん。道路工事三度ほどで大紀南島線のトンネル脇に抜けることができた。ふう？。注連小路へ抜けるダートを下り、国道へ出た。'やっと今どこか解った'真ちゃんの弁。そう、ここは国道脇のスーパー、買い出しです。田舎スーパーにしてはやる気満々のこの店、肉、野菜、魚、自家製惣菜と地域性も十分に発揮され品数も十分、参加者全員満足しました。キャンプ地は網掛山の山頂付近広場。ダート道をグングン登ります。車１０台ほど駐車できそうな広場には仮設トイレも設置され、薪もたっぷり、１６時３０分、焚火の前で開宴です。うつぼの干物にせせりの焼き鳥わふうちゅうかにいたりあん、皿が回って目が回り酒もまわって良い酔い宵。参加の２人は専門分野にとても博識でおまけに饒舌家でもありますので、小生はただうなずいて相づちをうっているだけで楽しい夜が更けてゆきました。三重っていいな。

翌朝カバさんはオヤジ殿をセントレアまでアッシーするためにお別れ、真ちゃんと飯高町方面の林道をめざした。湯谷峠をくねくねと乗り越え目指すは林道乙栗子七日市線、急坂を豪快に駆け上るダート道です。秋には松茸取り、冬には鹿撃ちが入りやすそうな林道です。この町には飯高北奥林道という長い基幹林道があるのですが、全線開通には至っておりません、キャンプ場管理者との地検争いの未解決が理由との事。そこでその尾根林道までの取り付けダートを何本か登り下りしようというのが本日のメニュー。まず口福本から本線をめざして登ります、ジムニーのブーストを利かせて２速３速を駆使する登りは楽しいの一言。本線へ出て東へ数キロ熊出没注意の看板を右に下ると池の添集落へ出るガレ道だ。ＮＢＯＸだと前後フエンダーは形なさないギャップだらけのくねくね道が楽しい、ジムニーで良かったと思う一瞬だ。一度国道へ出、奥山集落を目指して登る。狭いコンクリ舗装とダートが交互に続く急坂急カーブに油温は１１０度を超えるが、エンジン快調ゴーゴーゴー！また尾根林道に出る。冬にはここも雪と氷に覆われ、かなりスリルある道だけれど、今は春４月、小鳥のさえずりに若芽の青い香りに石清水が美味い。開設途中の林道は冬に来た時よりかなり先まで伸びてはいたがまだ途切れていた。少し戻って急坂を下る。暗い檜林の中をジェットコースターのように下る。地図になど載らぬ道を下る。林道走行の醍醐味を感じつつ赤桶の集落で今回最後のダートが終わった。

小生の趣味の一つにグーグルの航空写真を眺めて地図にない道を探すというのがあります。緑の野山を目いっぱい拡大し道らしきものを探すというものです。これだと思って現地に行くと谷川だったりと失敗も多いのですが、一つ当たればその晩の酒の美味いこと！今回の旅にもそのようにして見つけた道をいくつか通りました。来年からは定年にて自由の身になれますので、関西の新たな道を探して回りたいです。そのときにはまたお付き合いください。

記　赤貧

組費について

重要なお知らせ

組員各位

寺崎組の宴と塾で参加料とし徴収しているお金については、寺崎組新聞の作成経費（コピー機代、コピー用紙、文房具、封筒、切手、水道光熱費など）に使っている他、寺崎組発足当時は野宿旅の普及のためとか、寺崎組の本を作ろうとかという壮大な理念もありましたが、こういう時代となり、組長は来年還暦を迎える齢となり、まだ元気ではありますが、年相応に体力気力が減退しても不思議でも何でもありません。

そこで、今まで組会の際の組長の交通費とか報酬という発想が無かったのが不思議なのですが、熟考の結果、今後は今までに貯まっている参加料と今後徴収する参加料を、新聞作成経費以外を全て組長への報酬（これまでの交通費等の穴埋めと老後の生活費）とさせていただきますので、何卒、御了承のほど、よろしくお願いします。

組員有志

編集後記

地■ノムラーサバ焼けーメシ盛れー汁つげー
ゴ■ノムラーコピーとれー切手貼れー原稿切れー
森■ノムラーマンガおもしろいってーおもしろい…
O■ノムラー酒もってこいー三岳つけー
ムラ■茶ワンぐらい洗えます三岳は屋久島から持ってきたのに近くの酒屋で売っていたのはショックでした――